

PEUGEOT

405SRI · SRI-EX · SRI-SX / MI16 · MI16×4 / SRI-EX BREAK

405



PEUGEOT
405



**気がつくと、
流行のまんなかにいる。**

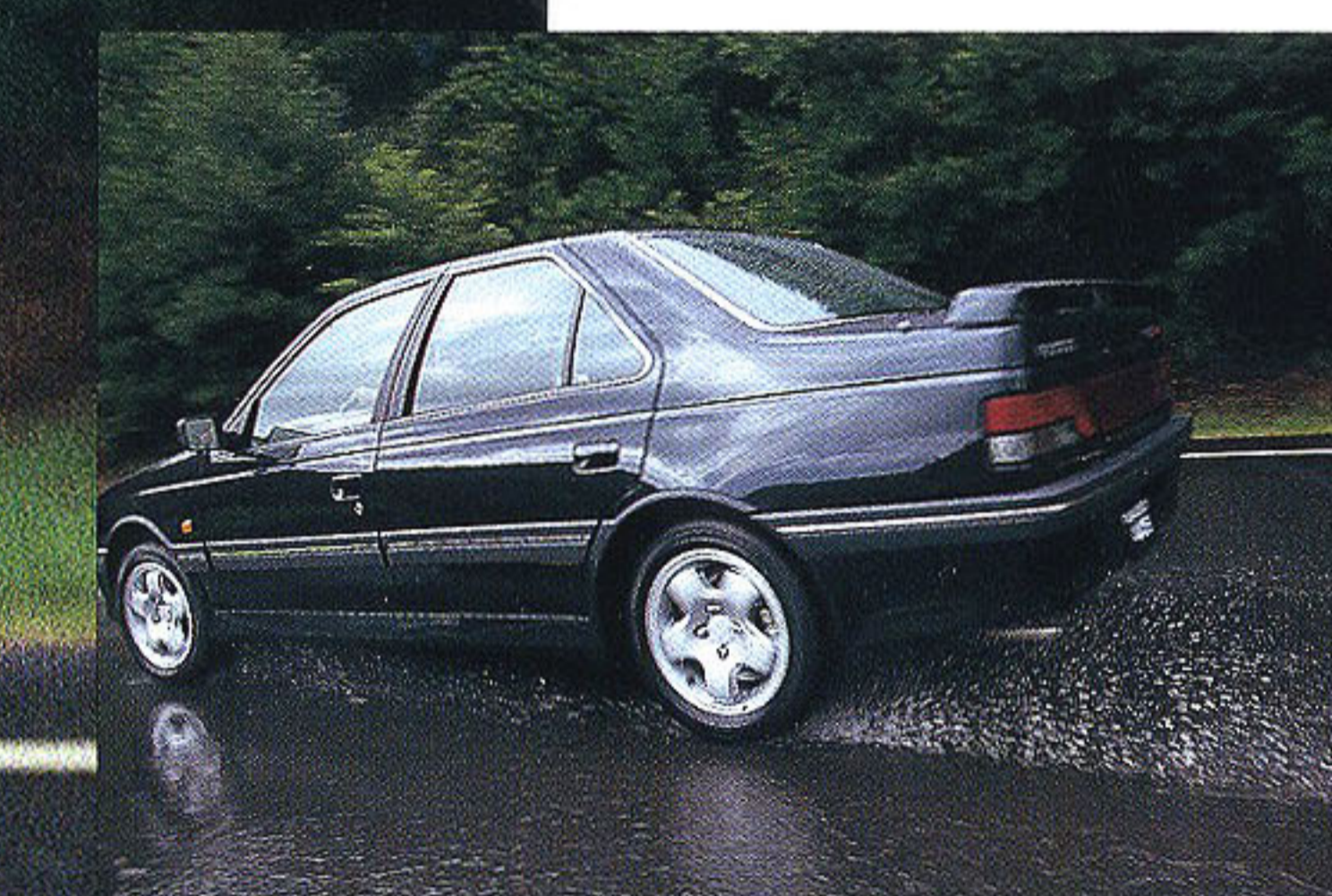
マリーナを華やかに彩るヨットを尻目に、
クルマはあくまでも優雅にクルージングしている。

いくつもの視線が、クルマに注がれる。

流行を追ったわけではないが、そのなかに自分がある。

セダンの新しい流れをつくる、美しい性能。

PEUGEOT 405 SRI-EX。



**クルマを操る楽しさが、
見えてくる。**

都市の渋滞では控え目なライオンも、
ひとたびワインディングロードに連れ出すと
フルタイム4WDのしたたかさを遺憾なく発揮した。
軽快なハンドリングでコーナーをクリアすることに、
走ることの本当の楽しさがわかってくる。
クルマを操る楽しさをもたらす、走りの血統。
PEUGEOT 405 MI16×4。



休日が暮らしの まんなかになった。

ガレージを出て3時間が経つだろうか。

身も心も、少しずつ自然のなかに溶け込んでいく。

未来の方角でわたしを待ち受けるのは、

都市生活では味わうことのできない贅沢な時間。

違った自分が出迎える、新しい私生活。

PEUGEOT 405 SRI-EX BREAK。





素敵な時間を、リザーブしています。

どうぞドライバースシートにお座りください。
ここから、あなたの楽しい時間がはじまります。

わたしの気持ち、クルマに伝わる。

コックピットを見れば、クルマの素性がわかる。
ブジョーのシートに座ったときから、この考えを深めた。
広く確保された視界、人を考えたパネルレイアウト。
それらすべてには、ホスピタリティの精神が貫かれている。
人と自由に語りあうことのできる懐の広さが、
わたしを快適なドライブへと誘う。

●ダッシュボード/メーターパネル

スピードを確認しようと、パネルに目をやる。視線はすばやく数字を読んだ。
やわらかな曲線のダッシュボード。各種メーターと警告灯がレイアウトされたメーターパネルは、視認性にすぐれた設計です。
スピードメーター・タコメーター・トップメーター・燃料計・水温計・油量計・油温計(MI16, MI16×4)・燃料残量警告灯・冷却水量警告灯・エンジン油圧警告灯・充電警告灯・パーキングブレーキ警告灯・ブレーキパッド摩耗警告灯・排気温度警告灯・緊急停止警告灯・ライト消し忘れ警告ブザー

●パワーステアリング

この取まわしの良さが、狭い駐車場でドライバーにプレッシャーを与えない。
ドライバーの意思に素早く応答するラック&ピニオン式。さらに扱いやすいパワーステアリング機構を組み合わせました。

●チルトステアリング

シートの位置や角度を調整するように、ステアリングの位置を調整する。無理のないドライビングポジションになるように。
ステアリングの位置は無段階に調整できます。

●本皮革巻き3本スポークステアリングホイール

ステアリングを握る。本皮革が手になじむ。3本スポークがスポーツマインドを刺激する。

走りのグレードを高めるステアリング。
(SRI-SX, MI16, MI16×4)

●ワンタッチ/パワーウィンドー(運転席のみ)

料金所が近づいてきた。ワンタッチただけで、ウィンドーは全開した。
通常のパワーウィンドー(助手席にも装備)に加え、ワンタッチでウィンドーが全開閉できるワンタッチパワーウィンドーを全車に標準装備。

●防眩式ルームミラー

後続車はハイビームのまま走っている。そんなときには、ルームミラーのノブを動かして、ミラーを切り替える。
ルームミラーは、ライトの反射を抑える防眩式。夜間の安全走行をサポートします。

●電動リモコンドアミラー

ワイフが乗ったあとは、ドアミラーの角度を調整する。リモコン操作できるから手間がかからない。
ドライビングポジションにあわせてミラーの微妙な角度調整ができます。

●ルーム/マップランプ

星をたよりに、ここまで来た。マップランプをつけ、ルートを確認する。
ルームランプの手前にあるマップランプは、左右に傾けると点灯します。

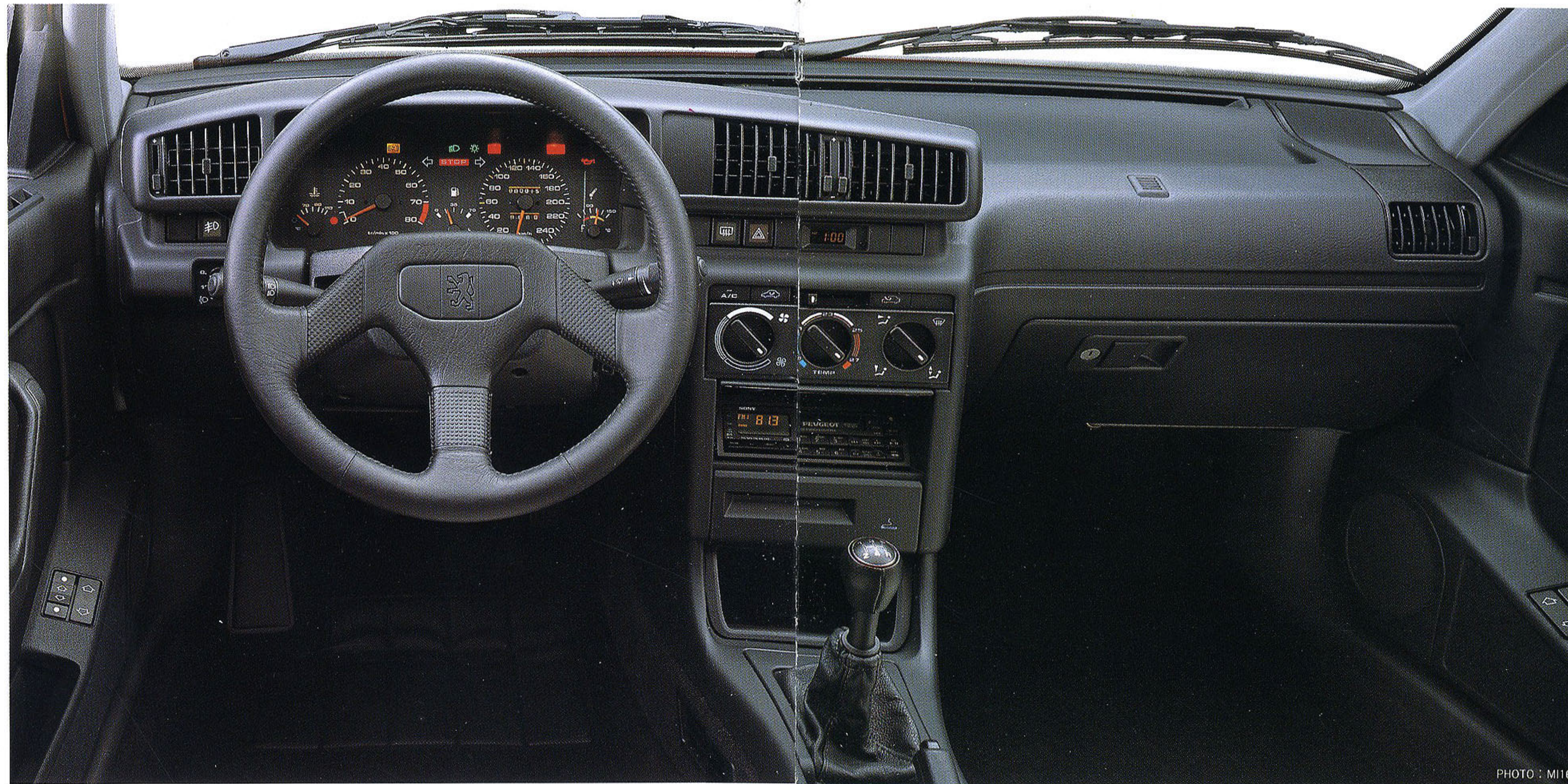
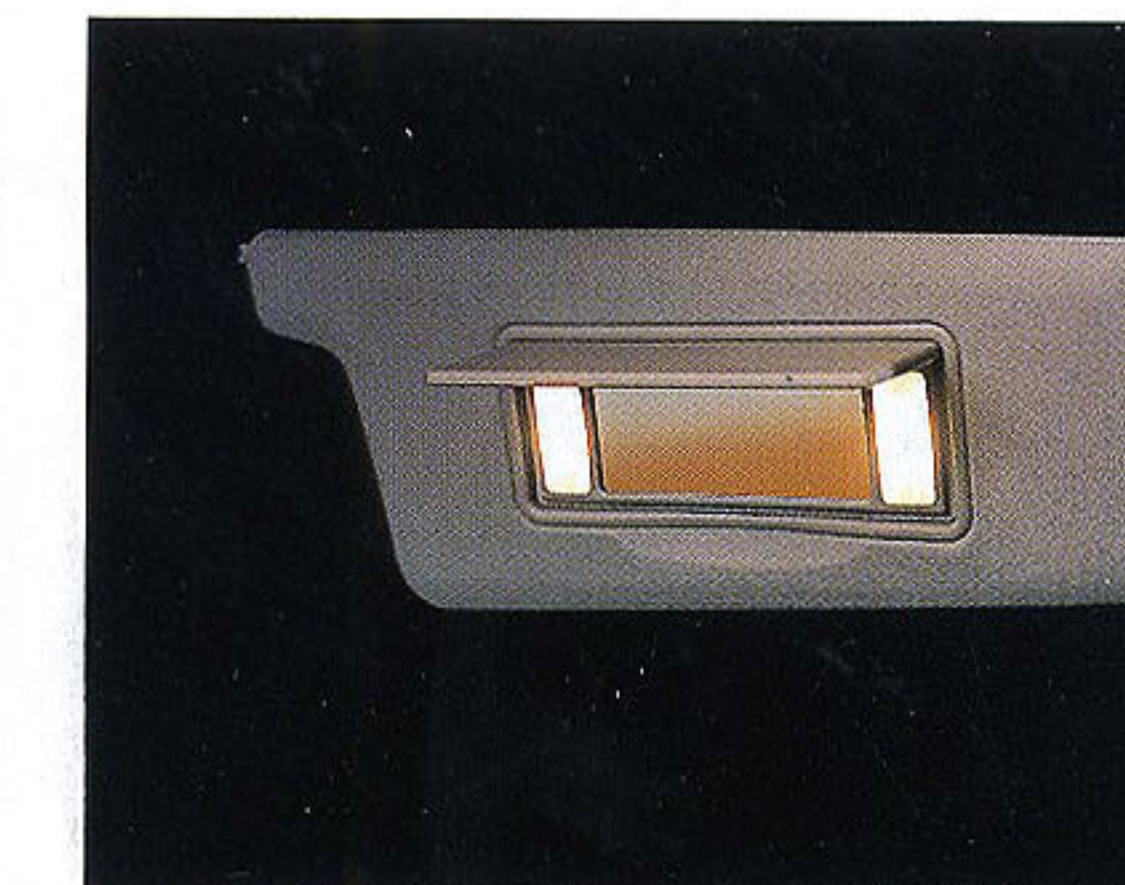


PHOTO: MI16

●パニティミラー

ワイフは、パニティミラーで表情をチェックしている。ライトがつくから、夜でもルームライトをつける必要がない。
パニティミラーのライトは、カバーを開けると点灯します。(ライトはMI16, MI16×4に装備)



●集中ドアロック

ガレージにクルマを入れる。キーでドアをロックすると、後部座席のドアもロックされた。
運転席側フロントドアのキー操作で、すべてのドアとトランクリッド、フューエルリッドの施錠・開錠ができます。もちろん、キーレスエントリーでも作動します。

●光軸レベリング装置

トランクルームに重い荷物を積んだ。リヤが沈み込んだ。ハロゲンヘッドライトの角度を少し下

に向けた。
クルマの姿勢に応じて、ヘッドライトの照射角度をコックピットからのリモコン操作で調整できます。

●リヤパワーウィンドースイッチ

風を感じなくなった。リヤウィンドーを手元のスイッチで開けた。
リヤパワーウィンドーのスイッチはコンソール前部に装備。

●ホーンスイッチ

対向車が道を譲ってくれた。ありがとうの言葉の代わりに、ホーンスイッチを押した。
ホーンスイッチは、ライティングレバーの先端に装備。ステアリングを切っても同じ位置で操作できるメリットがあります。ホーンはエアホーンを採用。(MI16, MI16×4)

●キーレスエントリー

両手には荷物を抱えている。キーを差し込まずに、ドアロックを解除した。
キーレスエントリーは、離れた場所からドアのロックをリモコン操作で開閉できる便利なシステム。集中ドアロックと連動しています。

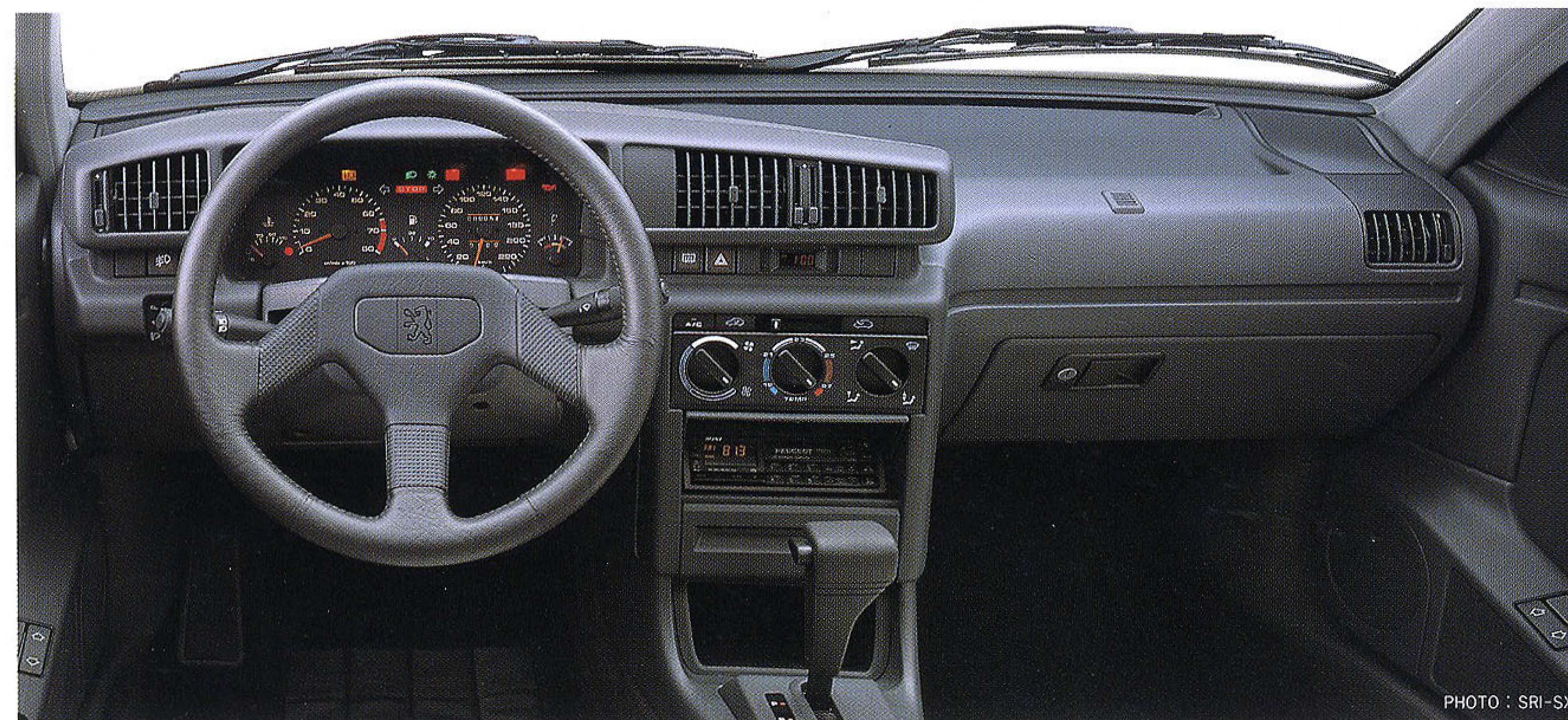


PHOTO: SRI-SX

●CDチェンジャーコントローラー付 AM/FMカセットステレオ

落ち着いたサウンドが聴きやすくなった。心地よいジャズが、6つのスピーカーから流れた。
トランクルームに設置するCDオートチェンジャーと、すべてのソースをコントロールできるワイヤレスリモコンはオプション。CD10連装が可能です。

●電動スライドガラスサンルーフ(チルトアップ機構付)

オープン・エアを感じたくて、サンルーフのスイッチを押す。空が屋根の一部になった。
陽射しを遮るサンシェードも装備。(SRIを除く)

●オートエアコン

車内の温度を23°Cに設定した。最適な室温に維持され、ドライブがより快適になった。
センサーが室温を一定の温度にコントロールします。

●ベンチレーションシステム

空調がゆきとどいている。車内はいつもすがすがしい。
1時間に約490m³もの換気能力をもつベンチレーションシステムを採用。

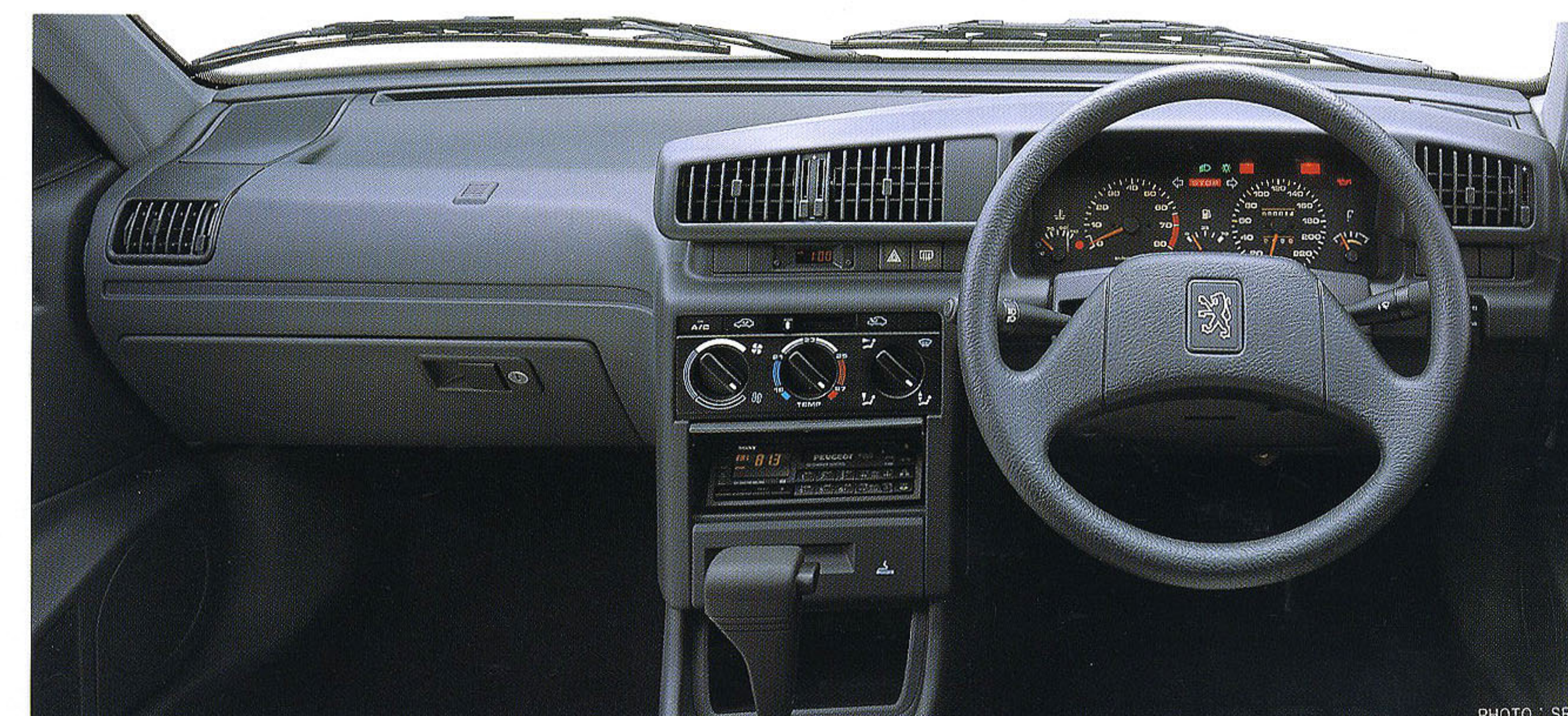


PHOTO: SRI

すこし、やさしい気持ちになれる。

コックピットに座る。この視界の広さはうれしい。
後部座席にたっぷりと確保されたゆとりあるスペースは、
パッセンジャーを疲れさせないことを知らない。
セダンの名を語る以上、クルマはこうでなくてはならないと思う。
人の気持ちに大きなやすらぎをもたらす、余裕。
快適な時間は、ここから始まっていく。



●ロングホイールベース

視界の広さ。そして室内の広さは、ゆとりをもたらしてくれる。このゆとりは、ひとクラス上のラグジュアリーセダンに匹敵するだろう。ロングホイールベースのブジョー405シリーズならではの快適設計です。

●シートベルト ハイアジャスター

今日は、ワイフがドライバーだ。シートベルトアンカーの位置を下げた。フロントには、4段階に上下調整のできるシートベルトを装備。正しく安全に装着できるよう配慮されています。

●ドライビングポジション調節

ロングツーリングに出かける。ゆったりできるように、ドライビングポジションを調節した。シートの高さとシートバックの角度(無段階)は調節自在。さらに、シートバック両側のサイドサポートも動かせます(SRI-SX, MI16, MI16×4)から、ドライビングに応じたホールド感が得られます。

●フロントバケットシート

タイトコーナーをクリアする。体をホールドするバケットシートが頼もしい。適度なタイト感がスポーツドライブをサポートするフロントバケットシートを装備。(SRI-SX, MI16, MI16×4)

●レザーシート

レザーシートの質感と洒落た雰囲気が、時間を優雅さで満たした。SRI-SX, MI16×4に標準装備しています。(MI16にはオプションとしてご用意しています。)

●フロントセンターアームレスト

高速道路をゆったりと走る。疲れないように、腕をアームレストにあずけた。ドライバーズシートのシートバックには、はねあげ式のアームレストを装備(SRI-SX, MI16×4)。MI16にはオプション設定(レザーシートとセット)。

●センターコンソール

心地よいジャズが聴きたくなった。コンソールからカセットテープを取り出した。センターコンソールは、たっぷり収納できるよう設計されています。



●リヤELR3点式シートベルト

後部座席にパッセンジャーを乗せる。シートベルトをしたのを確認してから、アクセルを踏んだ。安全性を考慮し、リヤにはELR3点式シートベルトを装備。

●トランクスルー機能

仲間とスキーに出かける。キャリアに乗せきれないスキー板は、車内に入れた。リヤセンターアームレストとカバーを倒すとトランクスルーに。長尺物の積載に便利です。(SRI-EX BREAKを除く)

●ハロゲン補助ランプ

霧が出てきた。先行車のテールランプが霞んでいる。安全のために、補助ランプを点灯した。フロントスポイラーにはハロゲン補助ランプを装備。(SRIを除く)

●ヘッドライトウォッシャー

ヘッドライトウォッシャーを作動させると、汚れがとれ、いつもの明るさが戻ってきた。使用時にはノズルから高圧水を噴出。ヘッドライトの汚れを除去します。(MI16, MI16×4)

●ウォッシャーノズル一体式ワイパー

高速走行時、窓の汚れが気になった。ウォッシャー液が噴出されても、視界が遮られなかった。ウォッシャーノズルはワイパーに組み込まれていすから、とくに高速走行時にウォッシャー液が視界を遮ることがありません。オプションとしてスノーワイパーブレードもご用意しています。

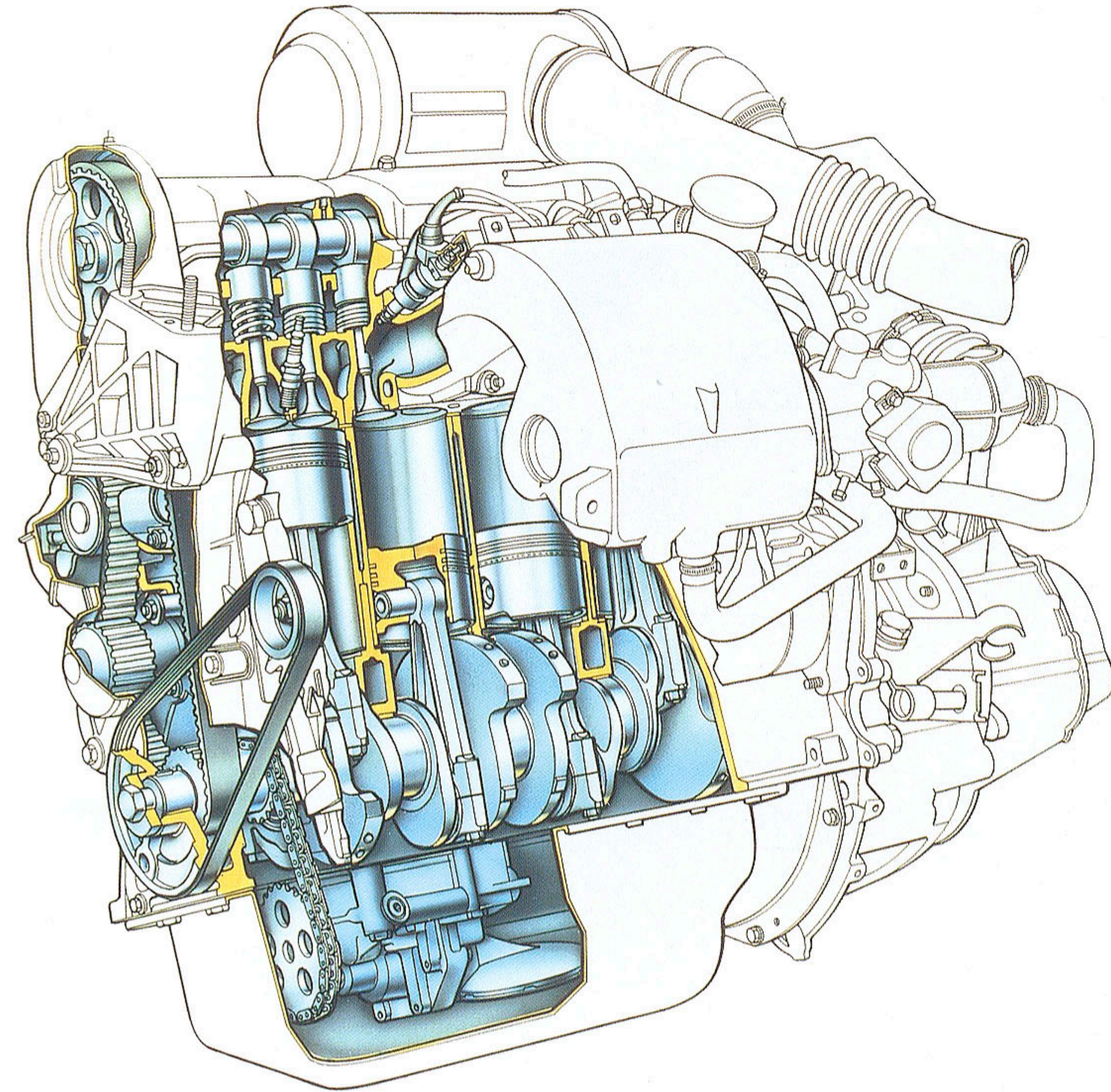
●リヤウインドーデフォグガー

ルームミラーを見る。冬場はとくにリヤウインドーの曇りが気になる。リヤウインドーデフォグガーをONにした。リヤウインドーの曇りを確実に除去します。

●トランクルーム

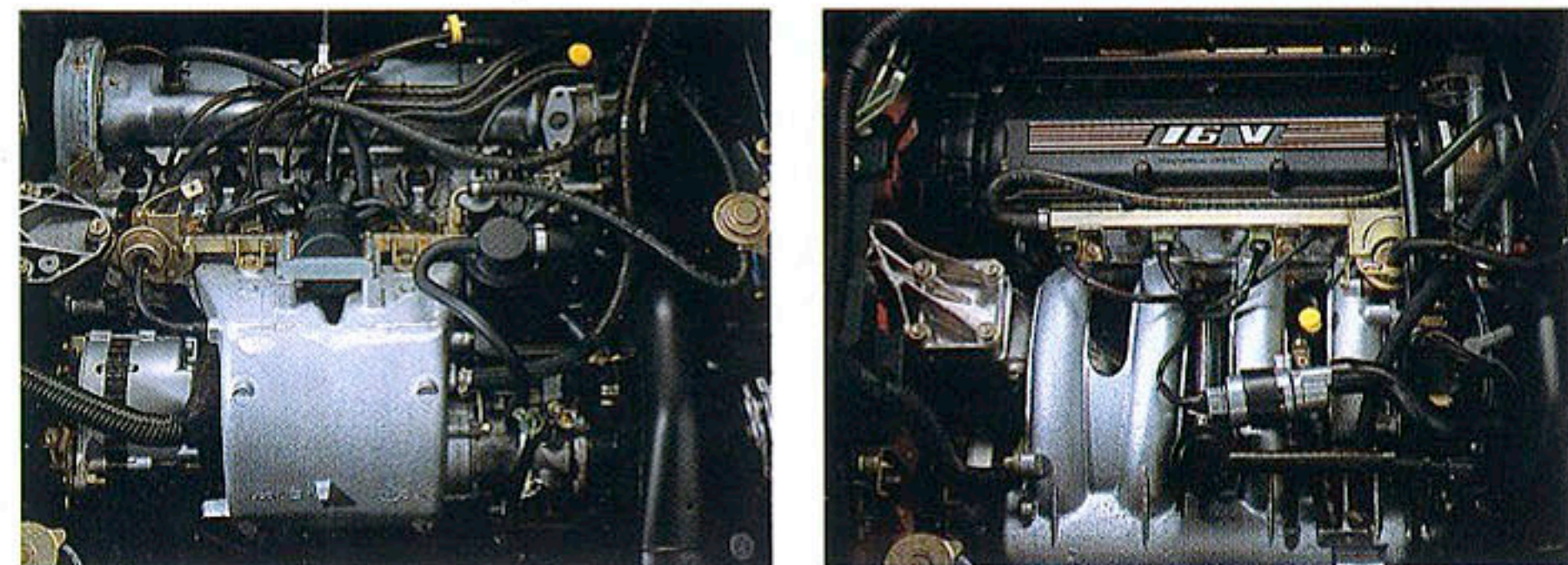
会社の同僚とゴルフに出かける。広いトランクルームには、4人分のゴルフバックが収まった。トランクルームの容積は、470ℓ。荷物をたっぷり積み込めます。(SRI-EX BREAKを除く)

SRI



プジョーのエンジンには、体温がある。

実用域で冴えを見せる、SRIの1.9ℓ SOHC。
ここでは、インテリジェンスという名のフィールがある。
走りの血統を継承するMI16の1.9ℓ DOHC16バルブ。
ここでは、ワイルドネスという名のフィールドがある。
数字だけでは感知することのできないテイスト。
プジョーのエンジンは、人の心と語りあう。

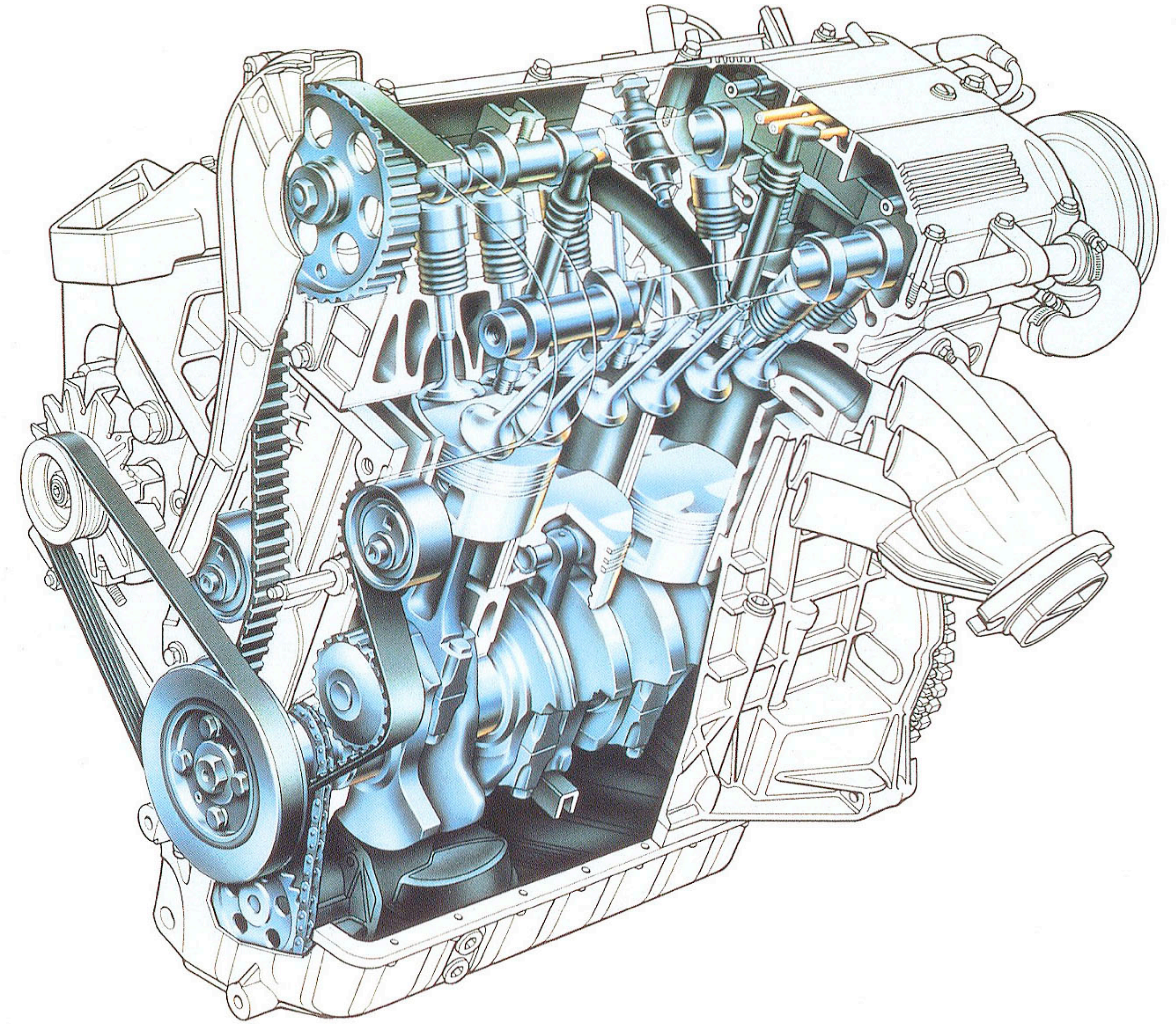


実用域で冴えた走りをする、
1.9ℓ SOHCエンジン。
スロットルペダルを踏む。タコメーターの針の上昇に比例し、なめらかな加速が得られる。低・中回転域はもちろん、高回転域からでもこの感覚は失われない。そして、俊敏なレスポンスがスポーツイメージを高揚させる。
405SRIに搭載された1.9ℓ SOHCエンジンは、最高出力120PS/6,000r.p.m.*、最大トルク15.2kg・m/3,000r.p.m.*を発生。低速度域から高速度域まで安定したなめらかな加速感が得られるとともに、140～150PSクラスに匹敵する厚みを持たせたトルクは、実用速度域での力強い走りを生みだします。高次元でバランスのとれたインジェクションエンジンならではの扱いやすさと鋭いレスポンスが、市街地からワインディングロードまで快適な走りを実現。ノーマルエンジンでひとクラス上のモデルの性能を発揮します。

熱いスポーツフィールに満ちた、
1.9ℓ DOHC16バルブエンジン。
スロットルペダルを踏むと、ライオンは乾いた雄叫びをあげた。タコメーターの針は、レッドゾーンまで一気に駆け上がっていった。
プジョーのスポーティ・フラッグシップ、405MI16。その名に恥じない1.9ℓ DOHC16バルブエンジンは、軽量アルミ合金製のシリンダーブロックとシリンダーヘッドを持ち、最高出力150PS/6,400r.p.m.*、最大トルク17.3kg・m/5,000r.p.m.*を発生。ラッシュアジャスター付タペットは、エンジン回転数を常にベストに保ち、メンテナンスフリーを実現しました。また、ボッシュモトロニック電子燃料噴射システムは、エアの吸入量、気温、エンジン温度、エンジンの回転速度などを検知し、コンピュータにより燃料噴射と点火時期をコントロール。高圧縮比、高回転型エンジンの躍動感、力強い走りの世界を実現します。

*ECE値

MI16



走りのクオリティを高める、
高次元のエアロダイナミクス。
空気をしなやかにかき分けながら、プジョー405は走っている。セダンとしてはきわめてハイレベルのエアロダイナミクスが、走りのクオリティを高める。プジョー405は、風と語りあう。
高速安定走行性と操縦性、低燃費性、そして快適な室内を生む静粛性を高めるために、プジョーは550時間にもおよぶ風洞実験を繰り返し、空力特性を極限まで追求。ルーフエンドからドアフレームにかけての部分やドアミラーに、独自のリップエッジ処理を採用したこと。さらに、フロントグリルから流入する空気を徹底的にコントロールすることにより、Cd値(空気抵抗係数)がMI16で0.30、SRIで0.29という空力性能を実現しました。エレガントなスタイリングには、これからのセダンに求められる、この目に見えない性能が隠されています。

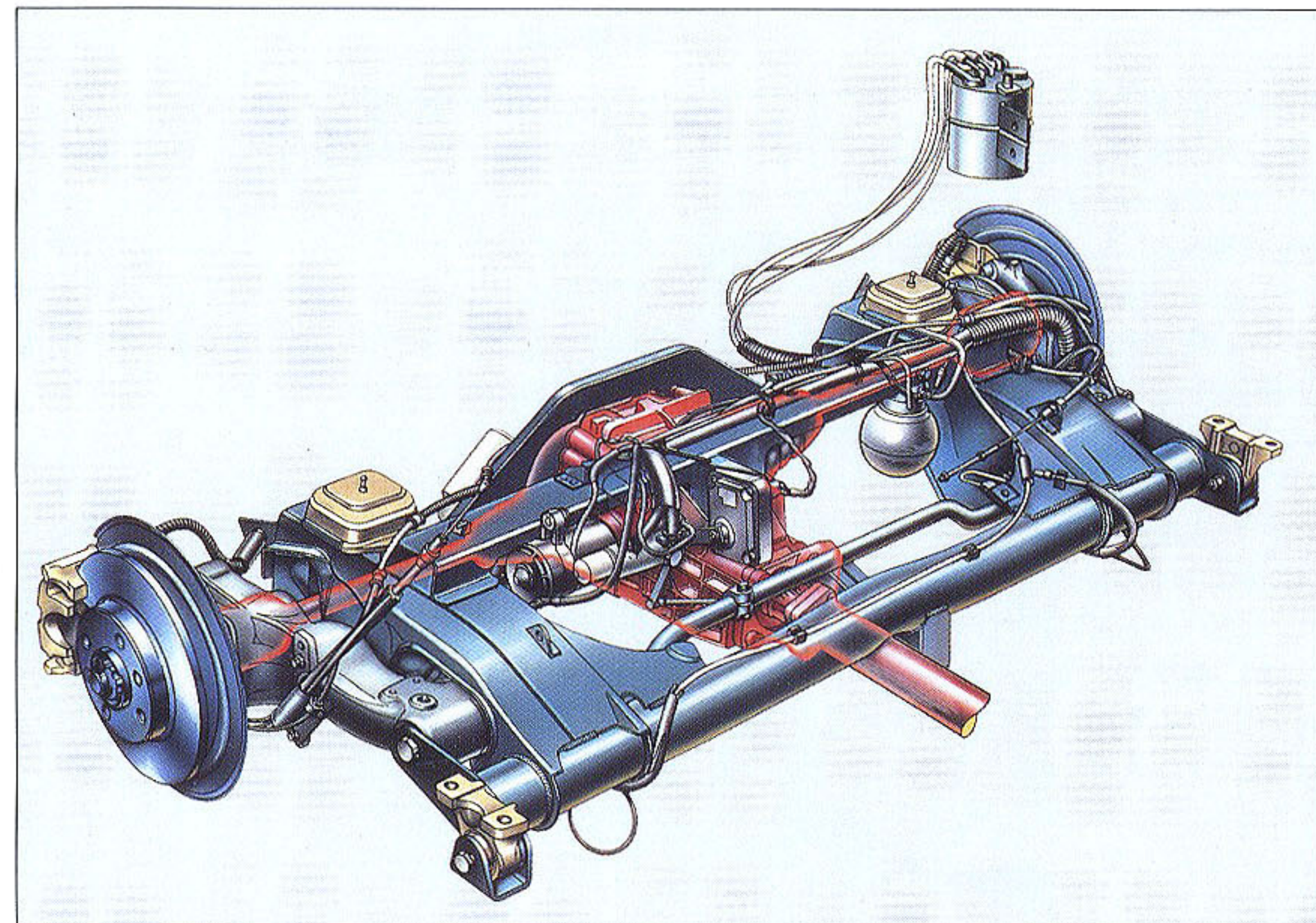
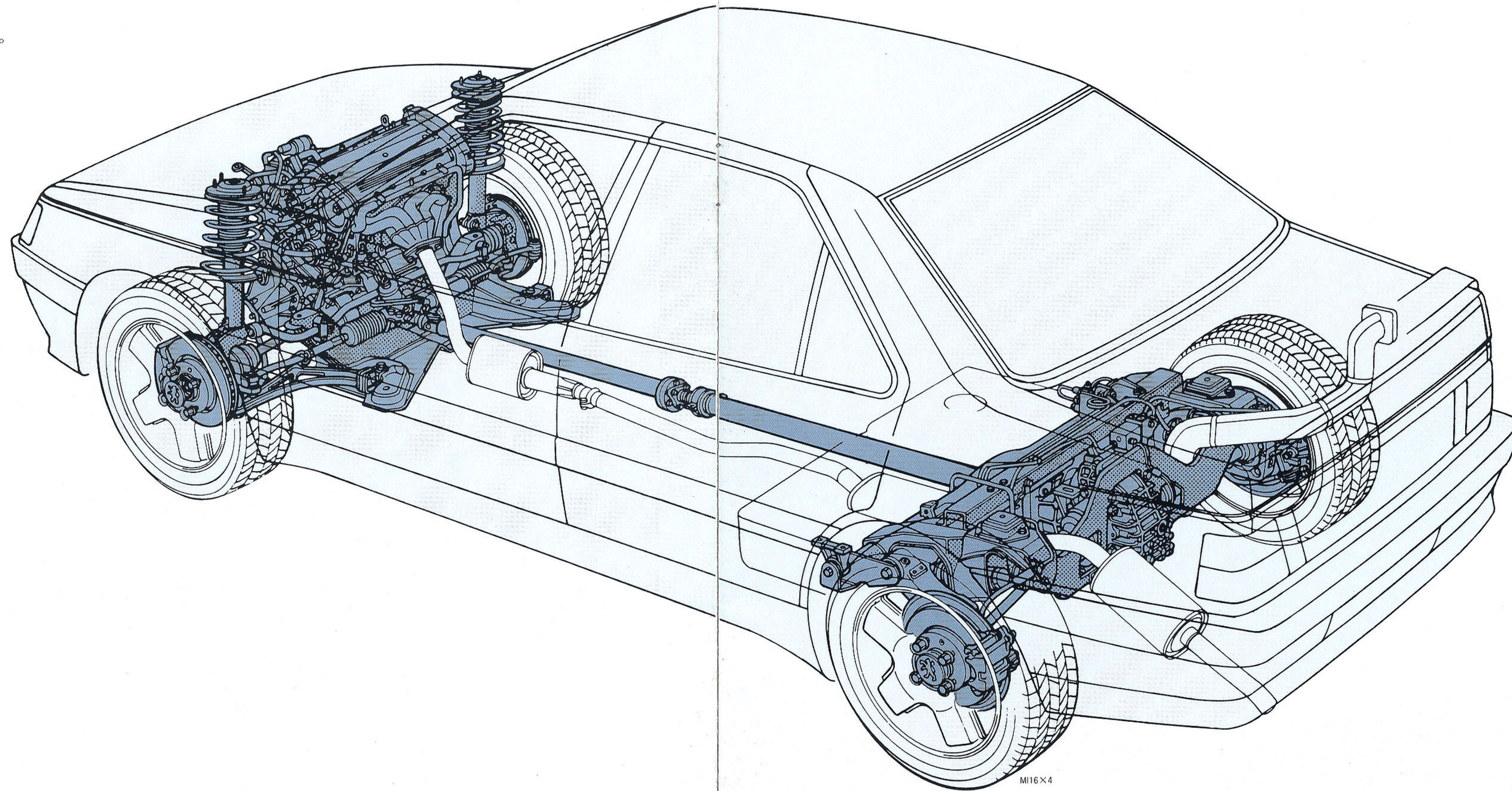
パフォーマンスを高める、
信頼性の高いトランスミッション。
SRI系にするか、MI系にするか。この選択はわたしを大いに悩ませる。ワイフも運転することを考えると、オートマチックの方がいい。しかし、自らがシフト操作をするスポーツドライビングの魅力も捨てがたい。
プジョー405シリーズは、各モデルのエンジン出力やトルク特性にあわせてミッションを設定しています。SOHCエンジンを搭載し、快適なドライブを志向するSRI系には、4速オートマチックトランスミッションを装備。オートマチック特有のもたつきをなくし、レスポンスのよさを実現しました。また、DOHC16バルブエンジンを搭載し、スポーツフィールにあふれるMI16系には、信頼性の高い5速マニュアルトランスミッションを装備。静かでスムーズなシフトチェンジは、実用性と趣味性の双方を高次元で満たします。

高剛性と軽量化を
バランスよく両立させたボディ。
初めてプジョー405のドアを開けたとき、まずその軽さに驚かされた。しかし、剛性の高さが維持されていることを知り、安心感は強まった。
クルマの剛性を高め、安全性を獲得するための方法のひとつとして、溶接箇所を増やすことがあげられます。プジョー405シリーズの基礎ボディに施されている溶接箇所は、11,600にも及びます。しかも、フロント部分のパネルには高剛性素材を採用。これにより、剛性の高さを維持しながら燃費向上につながる軽量化ボディにすることに成功しました。また、耐腐蝕性を向上させるために、防錆被膜やポリ塩化ビニールなど、数々の防錆・塗装処理を実施。過剰なまでの工程を経ることで、耐久性にすぐれ、変わることはない美しさを身につけることができるのです。

すべての性能と装備は、
安全を生み出すためにあります。
すぐれたハンドリングのおかげだろうか。しっかりとボディのおかげだろうか。プジョー405に乗っていると、不思議と安心していただける。安全性というのは、クルマの性能のなかでも高いプライオリティがあるのではないだろうか。
快適さを配慮し、すぐれたドライバビリティを生むプジョー405シリーズの性能と装備は、安全性を向上させるためのものでもあります。室内は安全性の高い独立設計で、万一の事故の際にはフロントとリアの部分のみがつぶれることでショックを吸収。前からのショックを吸収するステアリングコラム、積層ガラスを使用したウインドーシールド…。安全性を向上させる設計思想と、すぐれたドライバビリティとの融合。プジョーは、そこからセーフティドライブが始まると考えています。

この走りは、地に足がついている。

パワーがロスすることなく路面に伝わる。
コンディションの悪い道でも安定性を失わない。
MI16×4が官能的なスポーツフィールを生み出すのは、フルタイム4WDという性能を身につけたからにほかならない。
サハラ砂漠を疾走した精悍なライオンは、いま、あらゆる道をしなやかに駆ける。



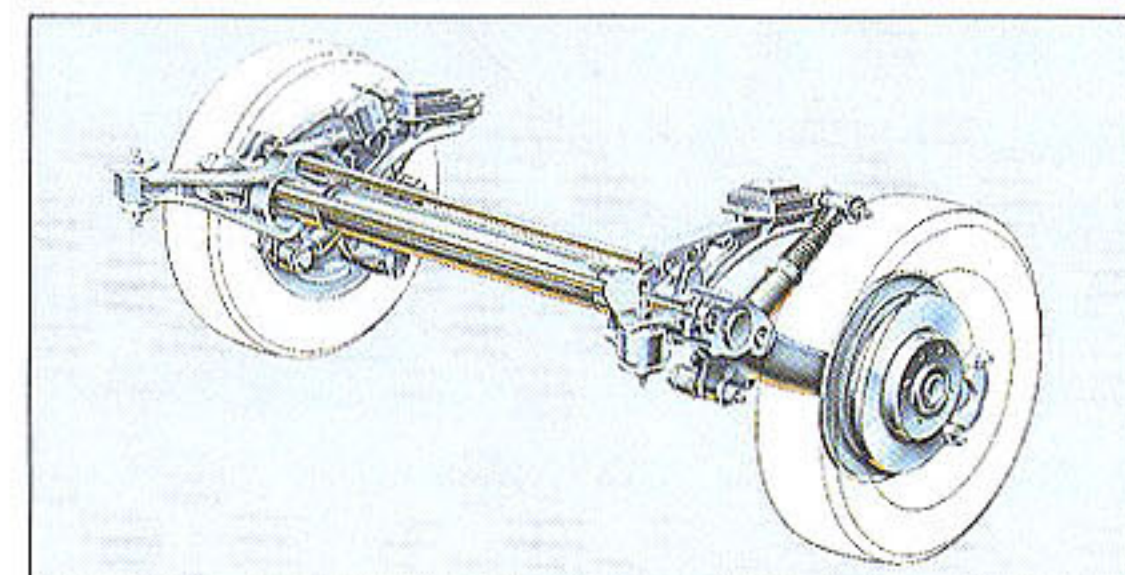
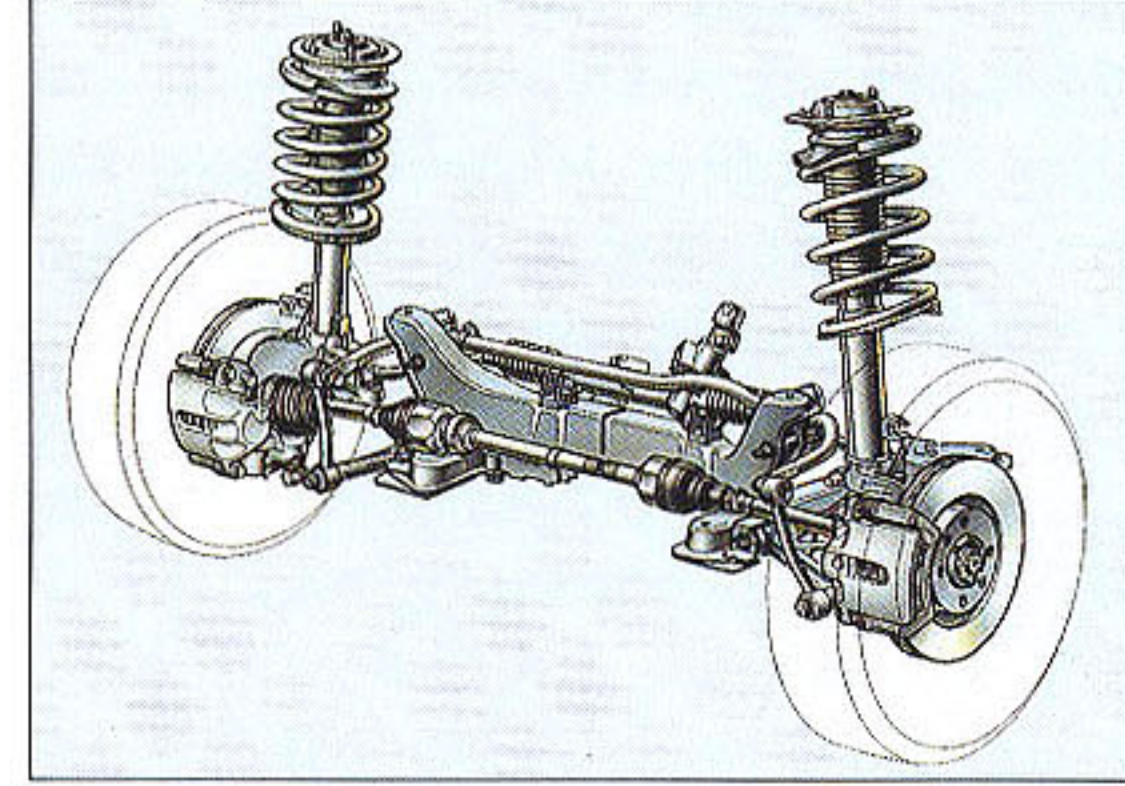
車体姿勢を最適な状態に保つ、
電子制御油圧式オートハイトアジャスター。
ここからしばらく、荒れた路面がつづく。しかし、405 MI16×4は何事もなかったかのようにスムーズに通過した。サスペンションのしなやかさが、ドライビング・プレジャーを生む。

405MI16×4のリアサスペンションには、電子制御により車体姿勢を最適な状態に保つ新システムを採用。これは、5°以上の車高変化を感知し、その状態が10秒以上続くとリアの車高を自動的に調節するというもの。パッセンジャーの人数や荷物の多少など、その時どきの状況にあわせて常に車体姿勢は適正に保たれるわけです。また、手動でも作動しますから、スタック時には車高をあげて脱出することも可能です。(MI16×4)

走りの要素を高次元で保つ、
熟成されたサスペンション。
モータースポーツが鍛えた、信頼できるドライブビリティ。405シリーズをドライブすると、適度な

スポーツテイストのあるサスペンションが迎えてくれた。

高速直進性と操縦性、そして快適な乗り心地のバ

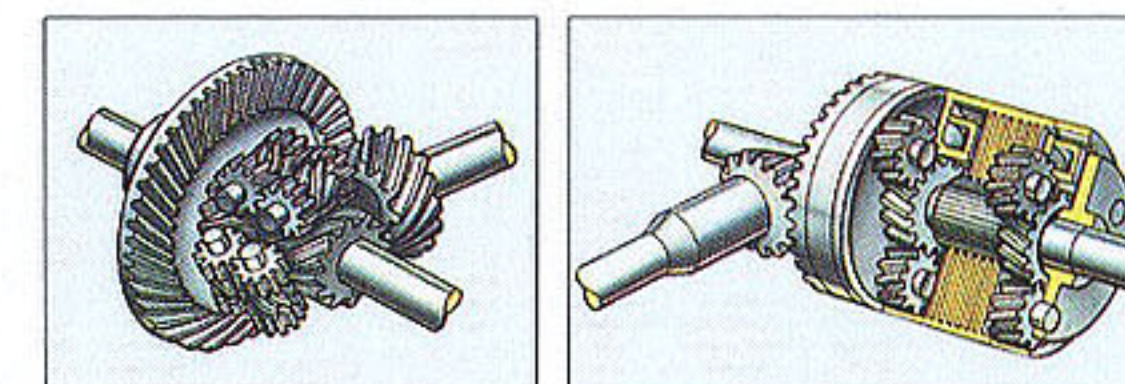


ランス。数々のモータースポーツにより鍛えられ、走りの要素を高次元で保つサスペンションは、ブジョー405シリーズのためにさらにリファインされました。フロントにはマクファーソンストラット、リアにはトレーリングアームの4輪独立懸架方式を採用。それぞれ、コイル・ワイドベースAアーム、トーションバーを加えています。運動性能にあわせてMI16系はハードに、SRI系はややソフトにチューニングされています。

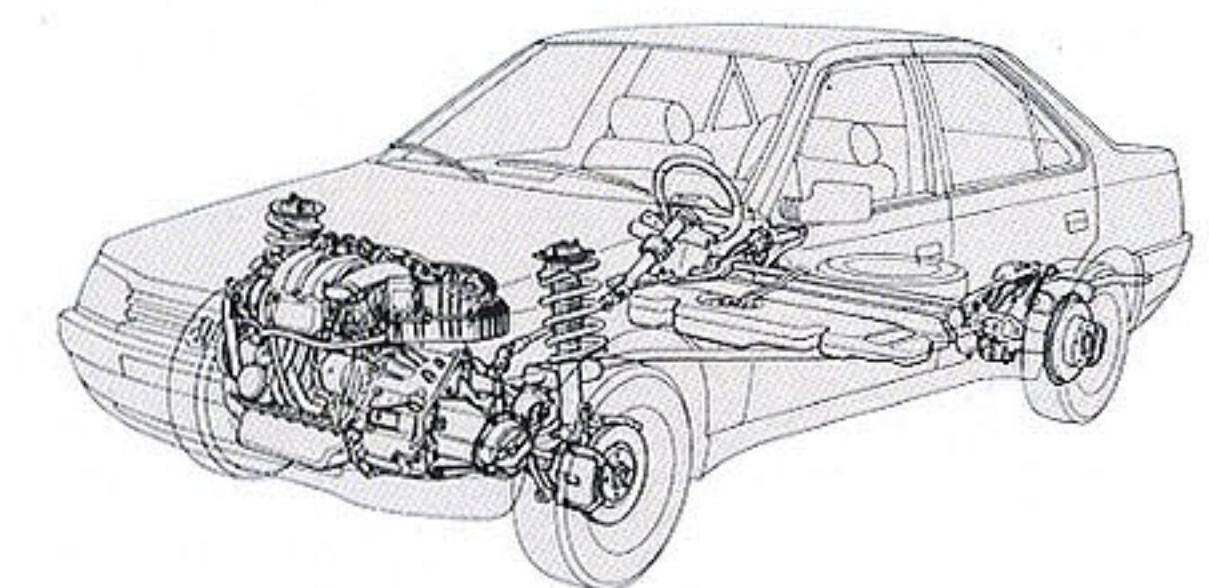
バリダカの走りが生きている、
先進の4WDメカニズム(MI16×4)。
ゲレンデに近づいてきた。雪道になっても、安定した走りは変わらない。バリダカールラリを制覇したしたかな走りが、ここに息づいている。MI16×4は、ビスカスカップリングを内蔵したセンター・デファレンシャルと、トルセン/リヤデファレン

シャル*を採用。ビスカスカップリングは、前輪(後輪)が空転したときに前輪と後輪の間でトルク伝達をロックする、いわばLSD(リミテッド・スリップ・デファレンシャル)の役割を果たします。トルセン/リヤデファレンシャルは、後輪の一方が空転したときにトルク伝達をロック。ハイレベルで保たれたこの2つの機構のバランスが、走行条件にかかわらず安定感をもたらし、最適なトラクションを実現します。MI16×4のトルク配分は、53%(フロント):47%(リア)に設定されています。

*トルセンは、ZEXEL-GLEASON USA, INC.の登録商標です。

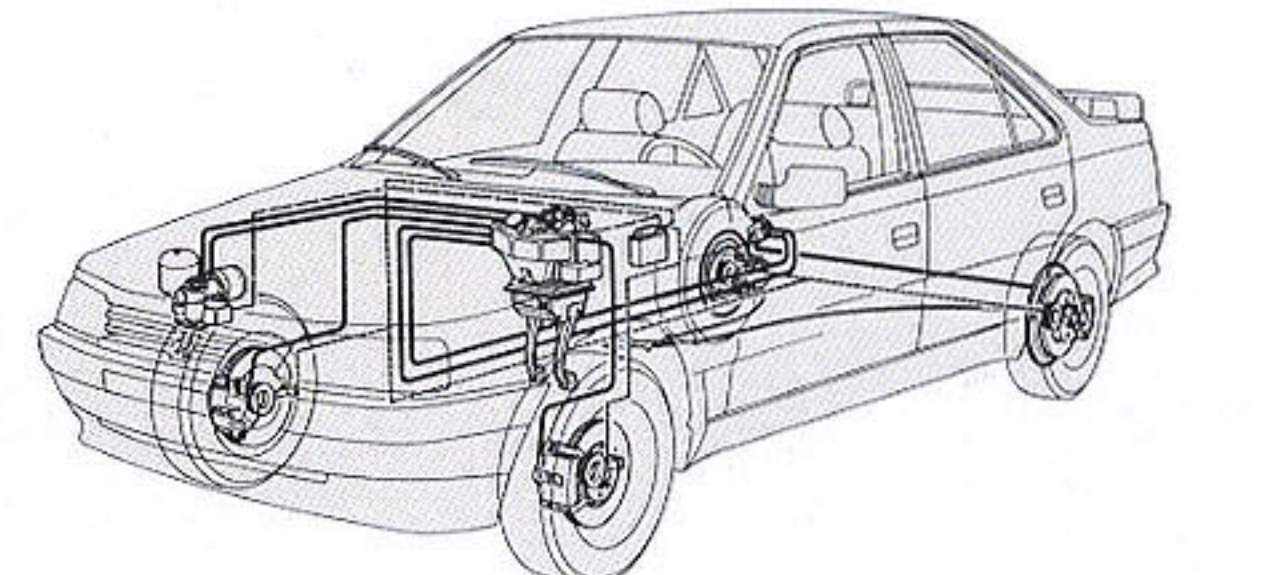


アンチロックブレーキシステムなど、
動力性能を引き出す先進のブレーキテクノロジー。
危険回避のため、とっさに急ブレーキを踏んだ。しかし、タイヤはロックすることがなかった。



動力性能を上回るキャパシティの制動力を確保するために、405シリーズ全車にはパワーアシスト付きディスクブレーキを採用。フロントのベンチレーテッドディスクと、リアのソリッドディスクは、

あらゆる状況下で確かな制動力を発揮します。また、ブレーキの油圧回路は2系統ですから、万一のブレーキトラブルにも対応します。さらに、SRI-SXとMI16には、高性能アンチロックブレーキシステム(ABS)を搭載。雪道など滑りやすい路面での制動や急制動の際、4輪に配した車輪速度センサーが車輪のスリップ、減速性能をコンピュータに指示し、適正なブレーキングを行います。



MECHANISM

わたしのオフが、ここからはじまる。

シートに腰をおろし、ステアリングを握る。
その瞬間から、わたしのオフタイムがはじまっていく。

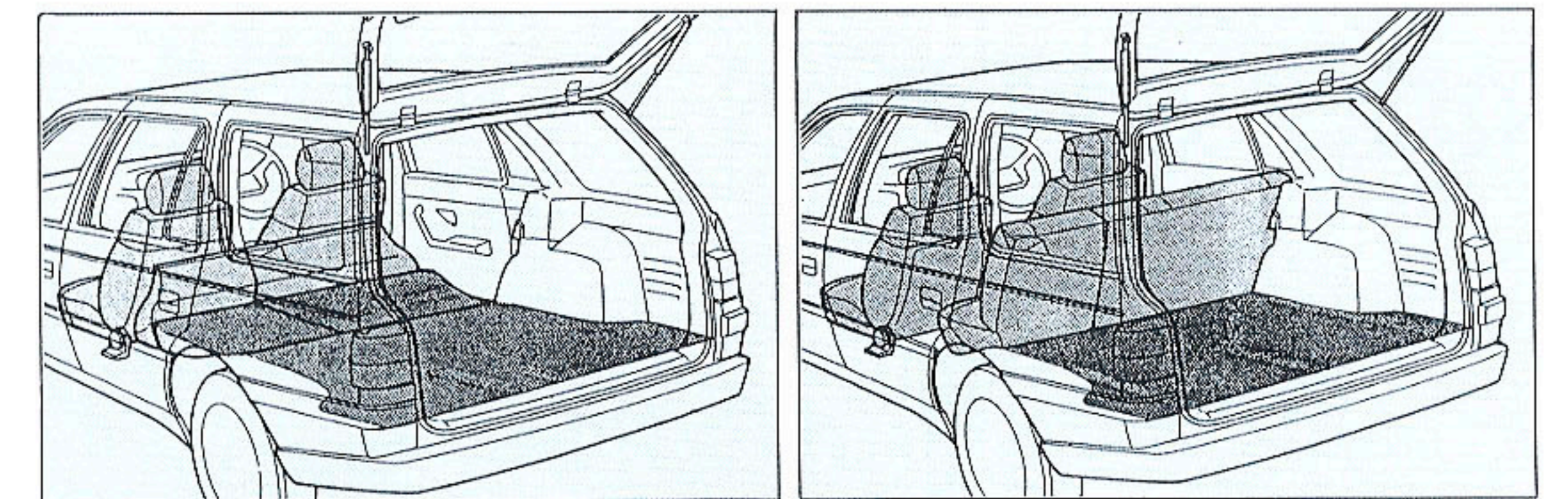
PHOTO: SRI-EX BREAK ミッドナイトブルー



PHOTO: SRI-EX BREAK ミッドナイトブルー

このクルマが、休日のゆとりです。

このクルマが、わたしの週末を愉しめた。
セダンであるSRIシリーズの美しいフォルムと
高いドライバビリティを継承しながら、
アウトドアライフに必要なギアを積み込むに十分な
広々としたラゲッジルームが確保されている。
スペースのゆとりが、オフの時間のゆとりになる。
ラゲッジルームを満たすのは、贅沢な時間。
わたしの休日に、ゆとりが広がっていく。



PEUGEOT 405

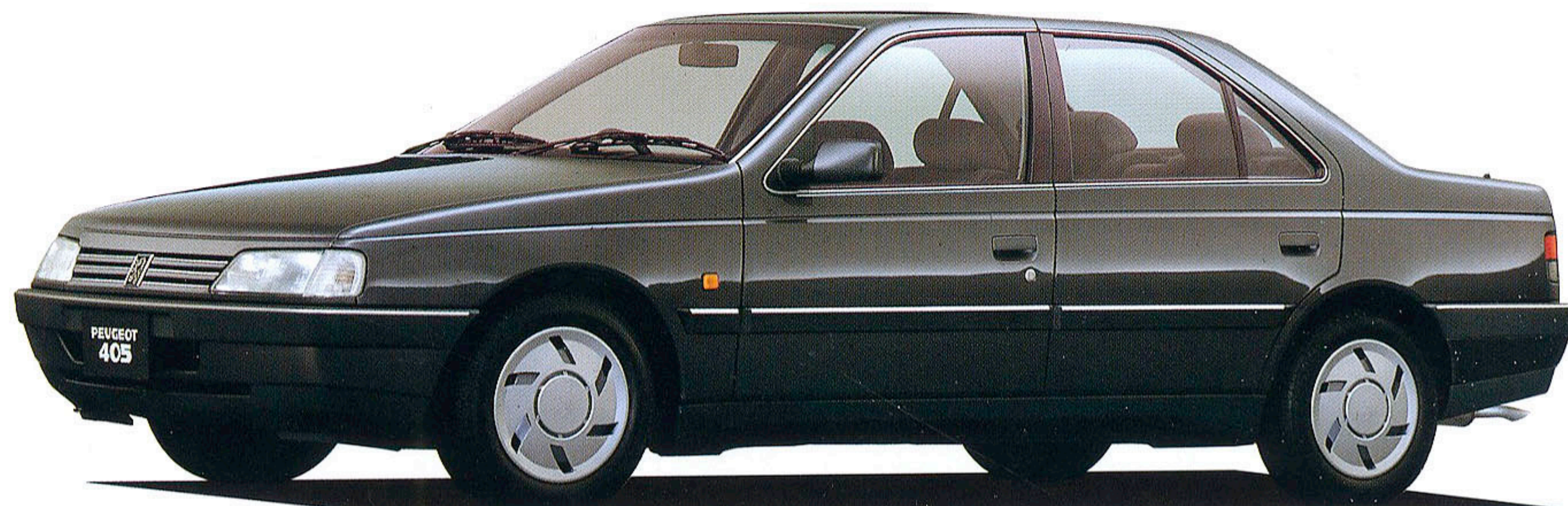
LINE UP

BODY COLOR/SEAT MATERIAL & COLOR/WHEEL

ボディカラーとインテリアのコーディネート

シート素材	SRI (4AT)		SRI-EX (4AT)		SRI-SX (4AT)
	ベルベット		ベルベット		レザー
シート色	ブルー	アントラシトグレイ	ブルー	アントラシトグレイ	アントラシトグレイ
ボディカラー					
ミッドナイトブルー	●		●		●
マグナムグレイ		●		●	●
ミングブルー			●		●
アルハンプラレッド					●
ソレントグリーン					●
アンソアブルー					●

405 SRI



(PHOTO) 405SRI 4AT 右ハンドル ボディカラー:マグナムグレイ シート:ベルベット(アントラシトグレイ)

BODY COLOR

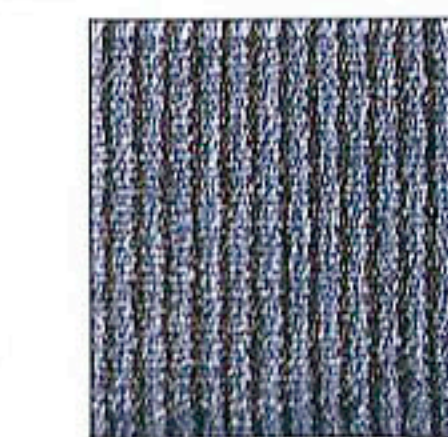


ミッドナイトブルー



マグナムグレイ

SEAT MATERIAL & COLOR



ベルベット=ブルー



ベルベット=アントラシトグレイ

WHEEL



フルホイールキャップ&185/65HR14ラジアルタイヤ

405 SRI-EX

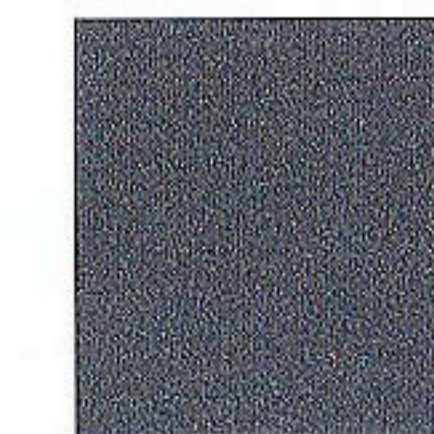


(PHOTO) 405SRI-EX 4AT 左ハンドル ボディカラー:ミッドナイトブルー シート:ベルベット(ブルー)

BODY COLOR



ミッドナイトブルー

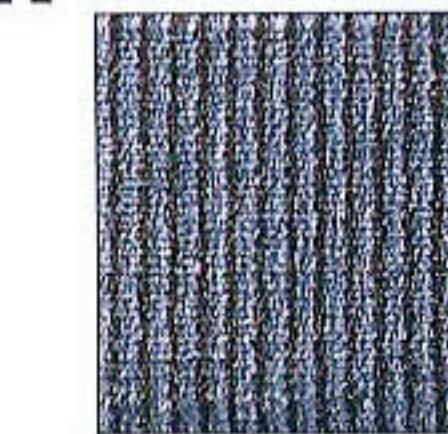


マグナムグレイ



ミングブルー

SEAT MATERIAL & COLOR



ベルベット=ブルー



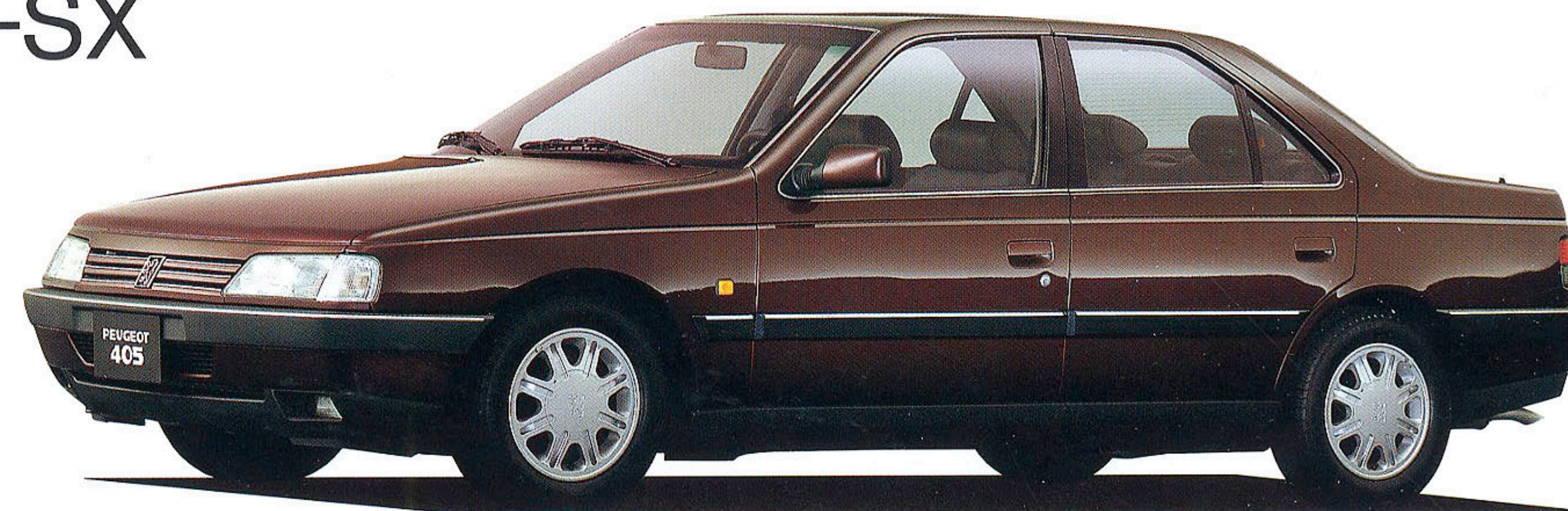
ベルベット=アントラシトグレイ

WHEEL



アルミホイール&185/65HR14ラジアルタイヤ

405 SRI-SX



(PHOTO) 405SRI-SX 4AT 左ハンドル ボディカラー:アルハンプラレッド シート:レザー(アントラシトグレイ)

BODY COLOR



マグナムグレイ



アルハンプラレッド

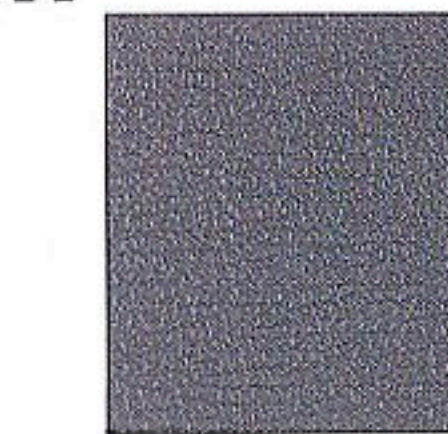


ソレントグリーン



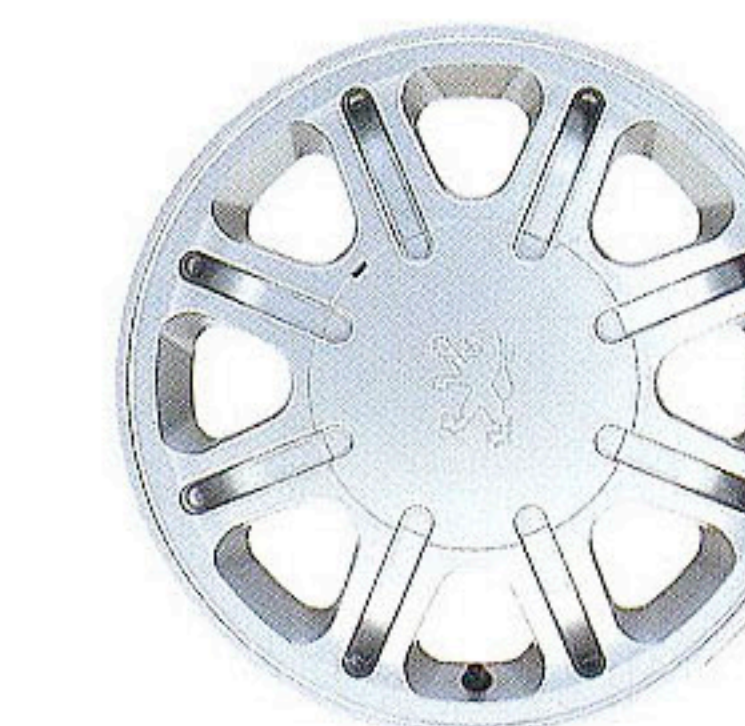
アンソアブルー

SEAT MATERIAL & COLOR



レザー=アントラシトグレイ

WHEEL



アルミホイール&185/65HR14ラジアルタイヤ

●仕様および車体色は予告なく変更することがあります。
●仕様および車体色によっては納期が異なる場合があります。詳しくは、販売店におたずねください。
●掲載写真の色は印刷のため実際と異なる場合があります。

PEUGEOT 405

LINE UP

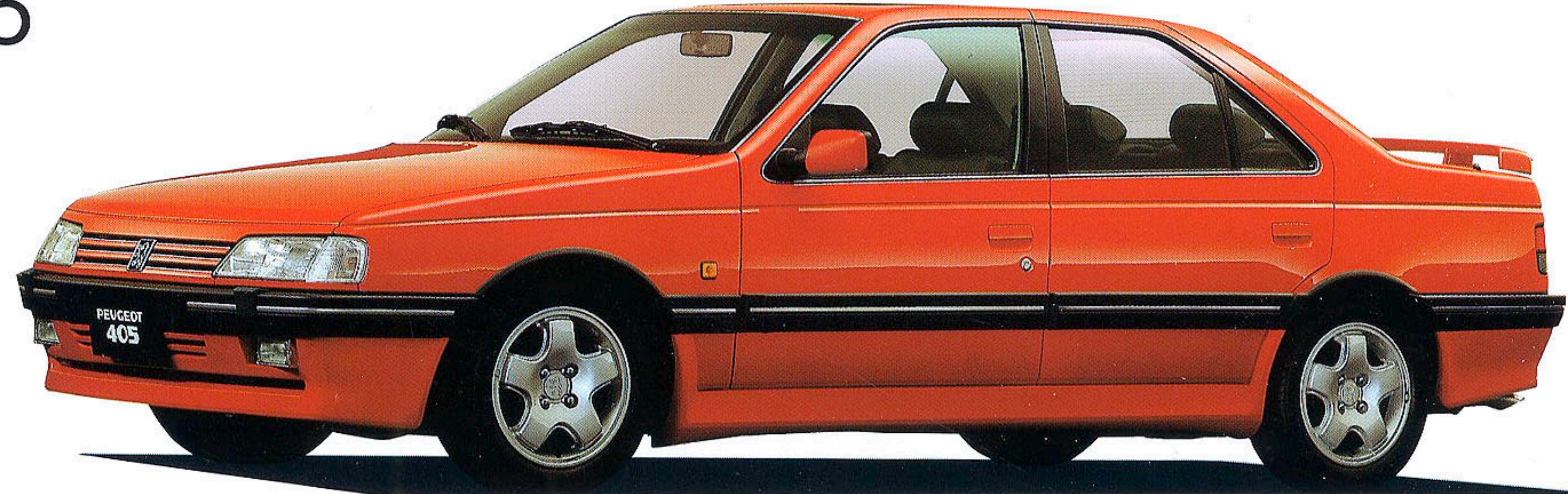
BODY COLOR/SEAT MATERIAL & COLOR/WHEEL

ボディカラーとインテリアのコーディネート

※印はオプション

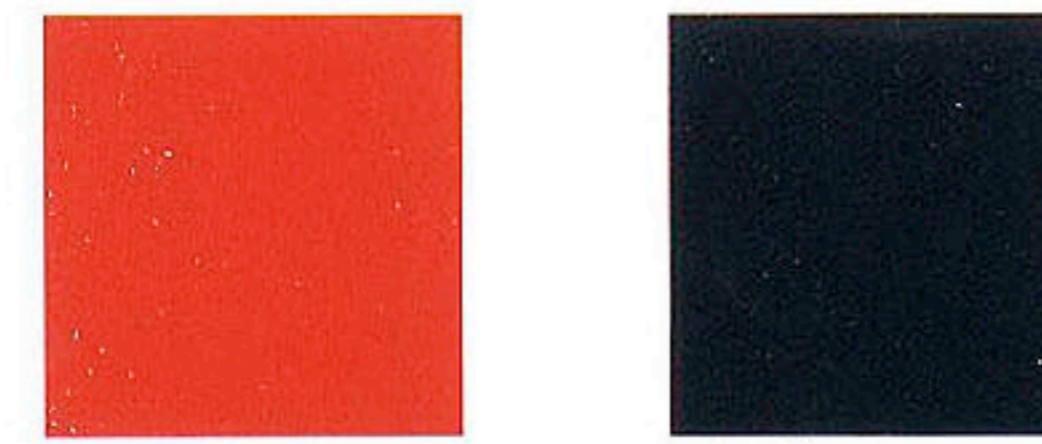
シート素材	MI16 (5MT)		MI16×4 (5MT)	SRI-EX BREAK (4AT)	
	ベルベット	レザー※	レザー	ベルベット	ベルベット
シート色	ウラガングレ	ウラガングレ	ウラガングレ	ブルー	アントラシトグレ
ボディカラー	チェリーレッド	●	●		
	ミッドナイトブルー			●	
	ブラック	●	●		
	マグナムグレ	●	●		●
	ソレントグリーン		●		

405 MI16



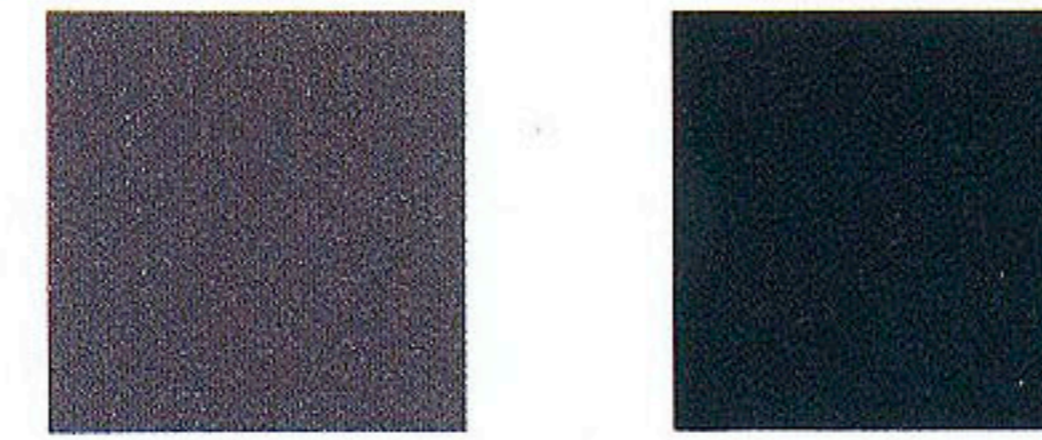
(PHOTO) 405MI16 5MT 左ハンドル ボディカラー:チェリーレッド シート:レザー(ウラガングレ) ※オプション

BODY COLOR



チェリーレッド

ブラック



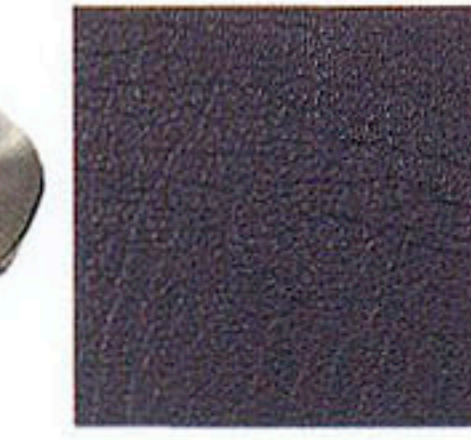
マグナムグレ

ソレントグリーン

SEAT MATERIAL & COLOR



ベルベット=ウラガングレ



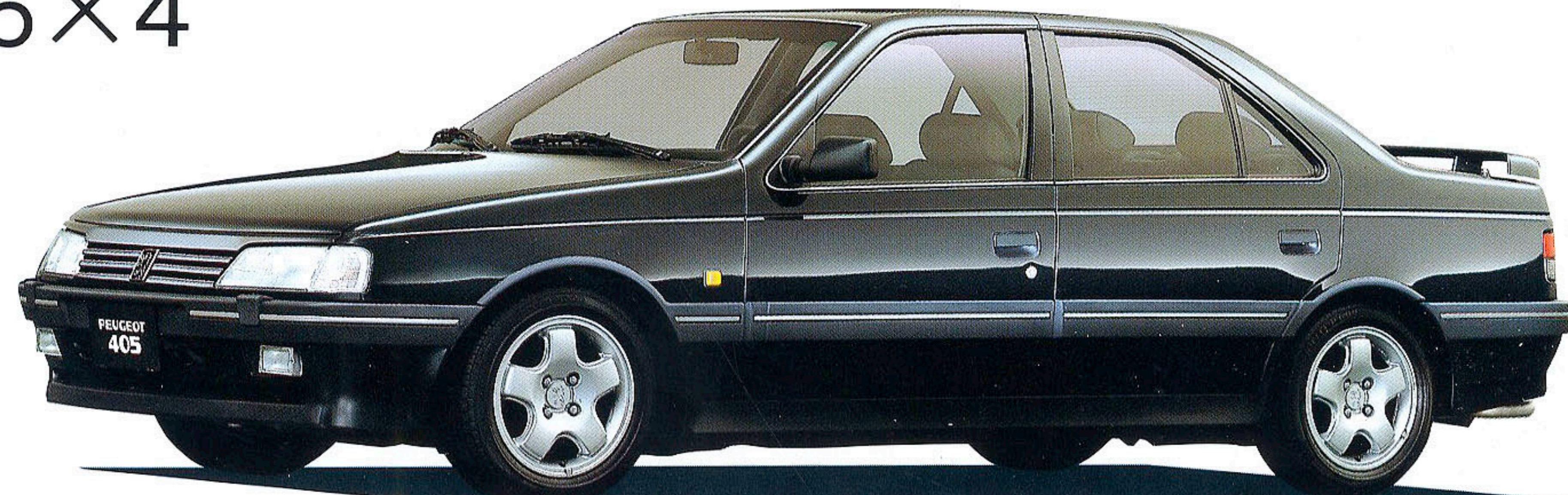
レザー=ウラガングレ ※オプション

WHEEL



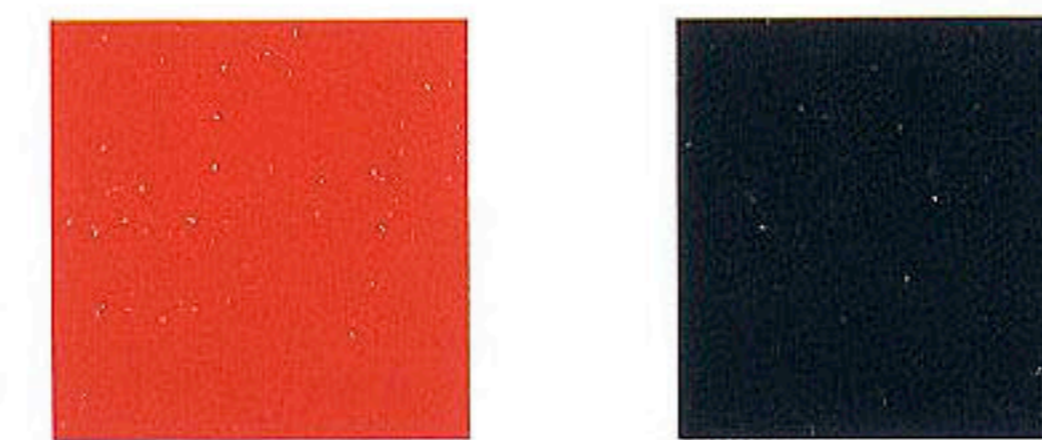
アルミホイール&195/55VR15ラジアルタイヤ

405 MI16×4



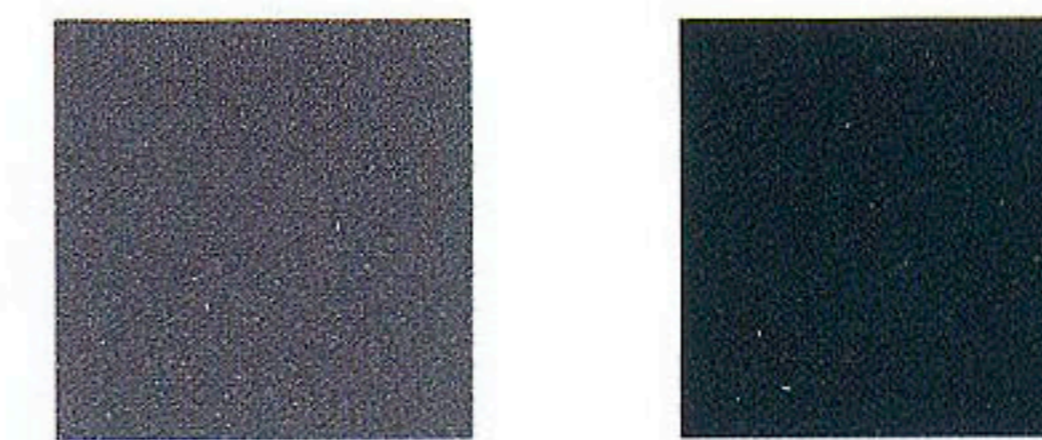
(PHOTO) 405MI16×4 5MT 左ハンドル ボディカラー:ソレントグリーン シート:レザー(ウラガングレ)

BODY COLOR



チェリーレッド

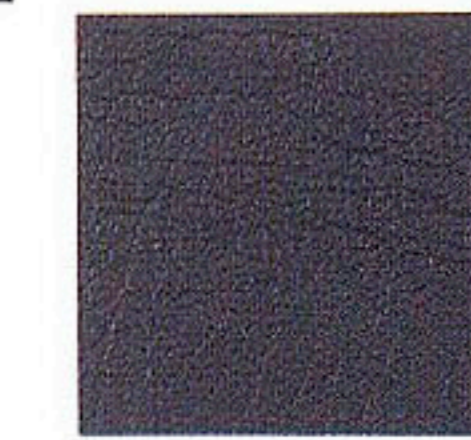
ブラック



マグナムグレ

ソレントグリーン

SEAT MATERIAL & COLOR



レザー=ウラガングレ

WHEEL



アルミホイール&195/55VR15ラジアルタイヤ

405 SRI-EX BREAK



(PHOTO) 405SRI-EX BREAK 4AT 右ハンドル ボディカラー:ミッドナイトブルー シート:ベルベット(ブルー)

BODY COLOR



ミッドナイトブルー

マグナムグレ



ミングブルー

SEAT MATERIAL & COLOR



ベルベット=ブルー



ベルベット=アントラシトグレ

WHEEL



アルミホイール&185/65HR14ラジアルタイヤ

●仕様および車体色は予告なく変更することがあります。
●仕様および車体色によっては納期が異なる場合があります。詳しくは、販売店におたずねください。
●掲載写真の色は印刷のため実際と異なる場合があります。

